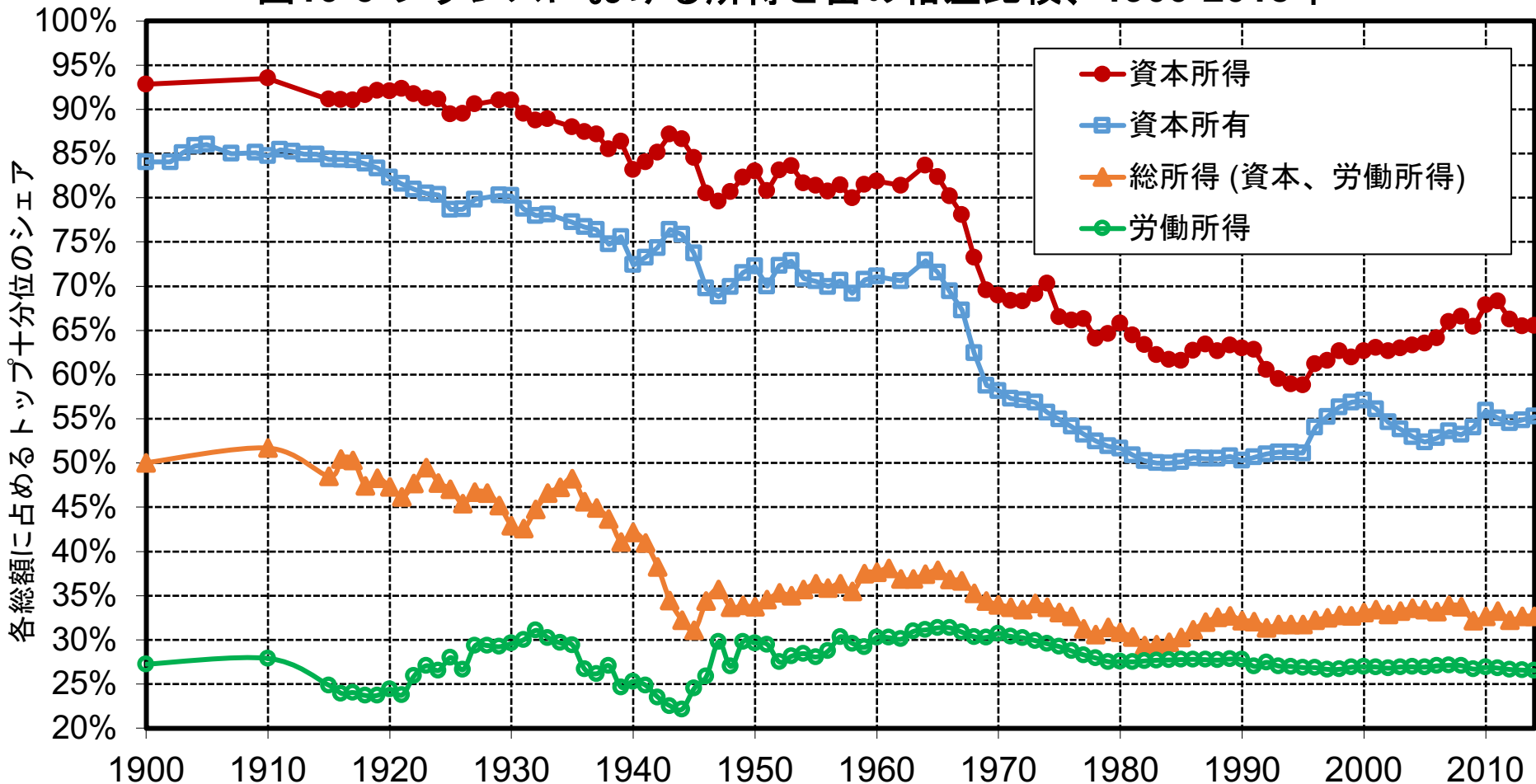


図10-6 フランスにおける所得と富の格差比較、1900-2015年



解釈: 1900-1910年には最も資本所得(賃料、非賃金報酬、年金)の多い10%が、総資本所得の90-95%を得ていた。最も労働所得の多い10%は総労働所得の25-30%を得ていた。20世紀の格差縮小はもっぱら財産の非集中化によるもので、労働所得の格差にはほとんど変化がなかった。出所と時系列データ: [piketty.pse.ens.fr/ideology](http://piketty.pse.ens.fr/ideology) 参照。